

神戸医療センター 病診連携だより

編集・発行：独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター

〒654-0155 兵庫県神戸市須磨区西落合3丁目1-1 TEL 078-791-0111

術前センターを開設しました

当院では、本年7月に「術前センター」を開設いたしました。「術前センター」とは・・・入院が決まった患者さんに対して、より安全で安心できる医療の提供を目的とし、看護師・薬剤師・事務職員が連携して、手術や入院について標準化された説明をする部門です。質問があれば可能な限りお答えします。



術前センター
の流れ

案内

○看護師

看護師の役割は、医師にクリニカルパスの適応の有無や中止薬の有無などを確認し、担当薬剤師への伝達、患者さんに対しては、入院から退院までの流れや入院時に必要な物品、注意点を説明する他、中止薬がある場合は中止日の前日に電話連絡を行っています。また、ADLや認知症の有無の確認や入院に際しての希望や困ることを確認し、病棟に伝達することで、より快適な入院生活を送れるよう、医師・薬剤師・病棟と連携しています。患者さんから満足の声を聞くことを楽しみに励んでいます。



才野看護師

看護師
の説明

○薬剤師



宮井薬剤師 松井薬剤師

薬剤師は、手術が決定した患者さんと面談し、①使用中の薬剤、サプリメントの調査②アレルギー・副作用歴の聴取③コンプライアンス状況を把握し、手術に向けて安全・適正に薬物療法を続けてもらえるように患者さんへアドバイスを行っています。特に術前に中止しておくべき薬剤を調査し、適切な時期に休薬をはじめただけるように、患者さんにパンフレットを提示しながら説明を行っています。更に、休薬忘れを防ぐために看護師と連携して入院までサポートできる体制をとっています。

薬剤師
の説明

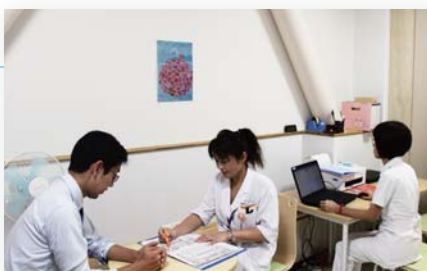
○事務

事務の役割は、主に入院の手続きを説明することです。「前に入院したことがあるから、わかっています。」と言われてしまうこともあり、対応には日々悪戦苦闘していますが、患者さんと同じ目線に立って、できる限り丁寧な対応を心がけております。



右田入院係長

事務
の説明



現在は対象症例を限定し運用しておりますが、開設から約2ヶ月が経ち課題も見え始めましたので、更なる患者サービス向上に向けて、より良いセンターの運営を目指して行きたいと考えております。

ご帰宅

”キッズ外科手術体験セミナー”が開催されました！！



外科部長 辻村 敏明

平成28年8月27日(土)に、当院において神戸市須磨区・垂水区在住の小学校高学年を対象に『キッズ外科手術体験セミナー』が開催されました。昨年に引き続いて2回目の開催で、昨年度に携わったスタッフも多く、滞りなく準備を進めることができました。各小学校に案内をさせていただいたところ、約50名と多数の応募をいただきましたが、厳正な抽選の結果25名の小学生とそのご父兄に参加していただきました。小学生の方々からは、事前に”将来外科医になったら”というテーマで作文を提出していただき、会場に掲示をしていましたが、患者さんを思った心に響く内容の作文も多く、身が引き締まる思いがしました。

当日はまず森田院長から開会の挨拶の後に、私からのセミナーの説明、石田先生からの手術手技に関する講義がありました。その辺りまでは子供達は神妙な顔つきで聞いていました。その後、実際の手術着に着替え、医師・看護師達と共に和気あいあいと記念撮影を行ったあたりから子供達のテンションが上がっていくのを感じました。



本年は、①手術縫合体験、②最新医療機器（超音波凝固切開装置）体験、③自動縫合器体験、④腹腔鏡体験トレーニング、⑤手術室での3D内視鏡の体験の5つのブースで、合計約2時間の体験をしていただきました。いざセミナーが始まると一生懸命に取り組み、克服しようとする子供達の姿が大変印象的でした。各ブースでは先生方がにこやかに熱心に指導をされ、子供達だけでなく保護者の方々も真剣に耳を傾けていました。テレビモニターを見ながらの腹腔鏡手術操作など、少し難しいかなと思っていた内容も予想以上に子供達の適応は早く、驚かされました。

約3時間半と短い時間ではありませんでしたが、あっという間に感じました。閉会式では子供達は記念撮影の写真入りの修了証を森田院長先生から一人一人手渡され、満足気でした。岩崎統括診療部長先生からの開会の挨拶でみんな笑顔となり、終了となりました。帰る前に友達やご家族と話をしている子供達はキラキラと充実して見えました。

このセミナーを通じて子供達が医療への関心を高め、将来の進路を決定する一助となれば幸いです。地域の方々に当院を少しでも身近に感じていただくきっかけとして非常に有意義なセミナーだと感じました。



第2回 須磨区多職種連携検討会を当院で開催しました！！



地域医療連携室 看護師長 池田 律子

平成29年度から須磨区においても地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営を行う「在宅医療・介護連携支援センター」が立ち上げられます。これは神戸市から神戸医師会へ委託され、各医師会が行うものです。同センター開設への準備の一環として、「須磨区多職種連携検討会」を企画されています。多職種連携による事例検討や講演を通じて、在宅医療・介護のレベルアップと「地域の多職種職員と顔の見える関係づくり」を目指しています。

この会は5年前から訪問看護ステーションスタッフを中心として年に2回開催されていた須磨区多職種交流会と一体になり、今年度から神戸市医師会と合同で各月に運営していくこととなり、再発足した会です。

第1回目は須磨区役所で120名を超える参加者があり、第2回目は当院での開催となりました。須磨北地区での開催は初めてとのことで、企画案が出たときから、当院会議室に収容できる人数、当院にある椅子、机の数、会の進行と音声をどのように工夫するか、果たして参加者は何名になるのか・・・と準備をしておりました。

当院の状況を考え、参加人数120名程度で計画していたものの、締切が近づくにつれ次第に参加希望者が増加し、170名の参加希望者となりました。ふたつの離れた会議室で音声とパソコンをつなぎ、少しでも多くの方に参加していただけるように考えました。

参加者は医師・歯科医師・訪問看護師・ケアマネージャー・理学療法士・社会福祉士・薬剤師・福祉用具専門相談員・行政書士・訪問入浴・訪問医療マッサージ・介護福祉士・今回初めて民生委員の方の参加もありました。

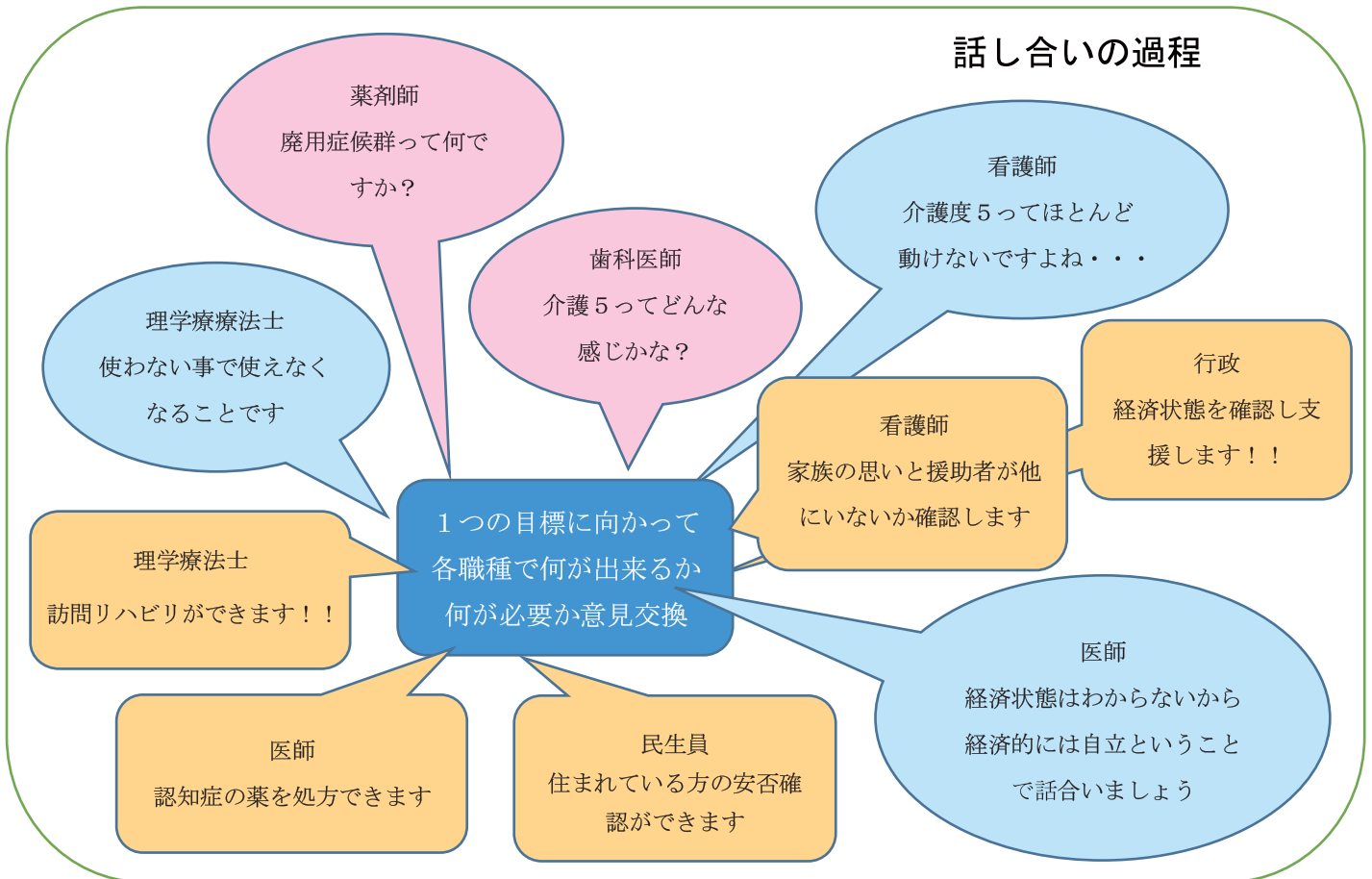
初めに地域医療連携室 退院調整看護師の山崎から「神戸医療センターの退院調整の実際～地域医療連携室の役割について～」を発表し、当院における問題と課題を参加者の方に理解していただきました。



遠くで院長が挨拶
しています。

その後21グループに分かれて1つの事例に対して「在宅でこの患者をこの職種で受け持つとしたら、目標をどこに設定し、各職種別に何が出来るか」を話し合いました。事例の相互理解の中では職種間で同一言語で話し合いができるように、わからない言葉の質問をお互いに行い、答えられる人が答え、事例患者の理解を深めていきます。

皆さん積極的に意見交換を行い、わからない言葉をお互いが答えあって理解を深めていました。目標を1つにとっても良いチームでのケアが出来ていました。



お互いに職種を超えて目標を1つにし、理解を深め、出来ることを相談しながら話し合いました。患者さん1人をケアしていくためにはいろいろな職種が協力していくことで、様々なサービスを受けることができ、安心して住み慣れた地域で過ごすことができるのだということを体感いたしました。また入院中から退院を見据えての介入が必要であることを痛感して研修会は終了いたしました。当院スタッフもとても良い刺激になり今後の看護に生かせそうです。



臨床工学部の紹介



主任臨床工学技士 橋本朋久

みなさん、臨床工学技士ってご存知ですか？あまり聞き慣れない職種ですのでどんな仕事か思い浮かばない人が多いと思います。臨床工学技士は高度化する医療機器に対応できる専門家として、病院の中で使用される医療機器について、安心・安全に使えるよう管理していくことが主な仕事です。今回は、その仕事の一部をご紹介します。

医療機器管理業務

機器管理システムを使用して、医療機器の貸出・返却業務、点検・修理業務を行っています。医療機器には人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ等があり、効率よく運用できるよう中央管理しています。

また、現場に必要な機器の適正な台数を把握し、老朽化した機器の廃棄・更新などの医療機器マネージメントも行っています。その他、院内への医療機器等に関する情報提供や院内勉強会を定期的の実施しています。



手術室業務

多岐にわたる各科手術用医療機器操作・保守管理及びトラブル時の対応を行っている中で主に整形外科で使用される術中神経モニタリングの操作が多くを占めます。

脊椎・脊髄の病変に対する手術は術後に運動麻痺・感覚障害等といった神経合併症を引き起こす危険性がありますが、電気生理学的手法を用いた神経モニタリングを行うことで難易度の高い手術でも合併症を極力少なくすることが可能となっています。

心臓カテーテル業務

血管内超音波装置 (IVUS) ・冠血流予備量比測定 (FFR) の操作・解析、検査や治療で使うカテーテル類を医師と相談し円滑に治療が進むようサポートしています。

緊急時にはIABP、PCPS、DCの準備を行い使用する医師の補助を行っています。



血液浄化業務

他院からの周術期における一時透析や急性腎不全など緊急を要する場合などに血液透析を行っています。

呼吸療法業務

睡眠時無呼吸検査からCPAP導入、外来におけるCPAP治療経過の解析などを行います。

最後に

昨年度までは業務の一部を委託業者に依頼していましたが本年度から臨床工学技士を2名増員し、計3名になった事で全ての業務を院内スタッフがを行っています。特に医療機器管理業務には力を入れており、医療の質向上に貢献できればと思います。

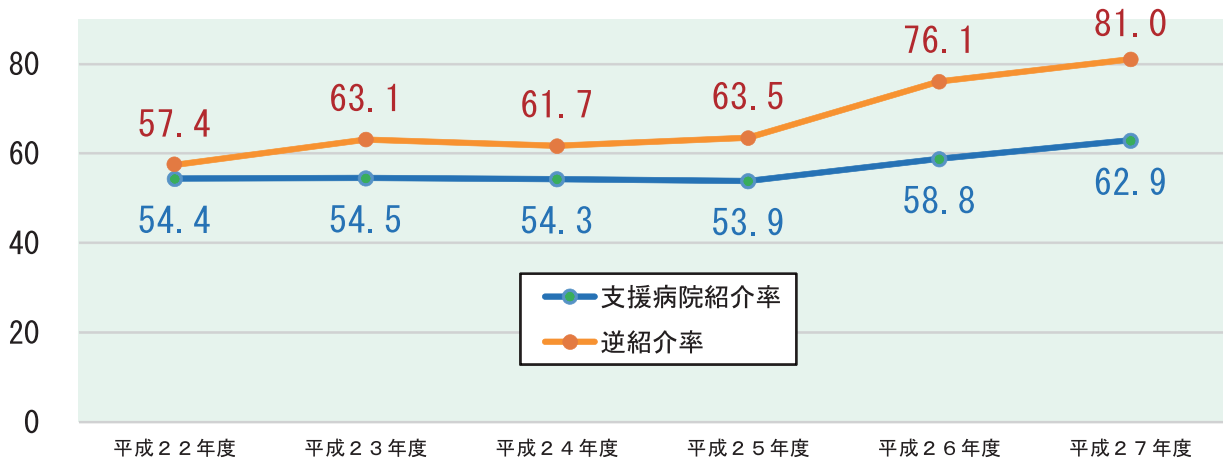


病診連携の現況について（実績報告）

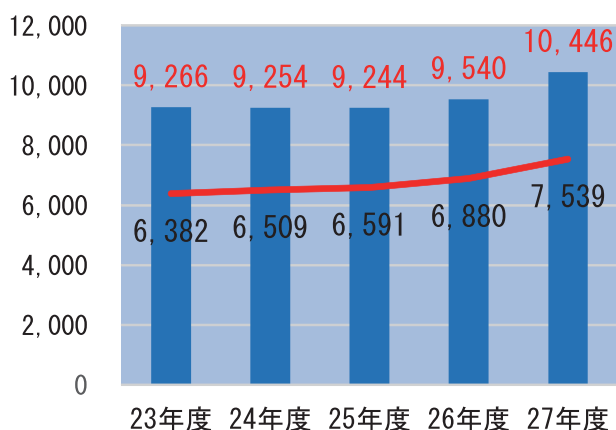
いつも当院との病診連携にご協力いただき誠にありがとうございます。昨年度の当院の病診連携の実績報告をさせていただきます。

下のグラフのとおり、紹介率・逆紹介率ともに上昇を続けており、「地域医療支援病院」の基準を満たしております。紹介件数は、地域の先生方のおかげで、地域医療連携室を立ち上げてから初めて10,000件の大台を超えました。

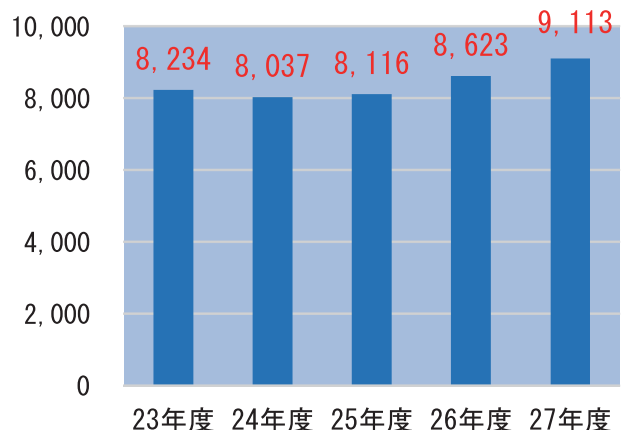
1. 紹介率・逆紹介率の推移（過去6年間） 単位：%



2. 紹介件数の推移（過去5年間） 単位：件



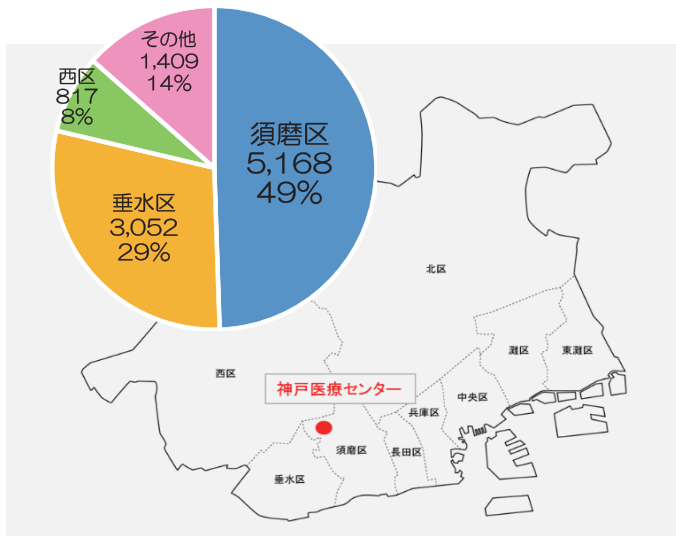
3. 逆紹介件数の推移（過去5年間） 単位：件



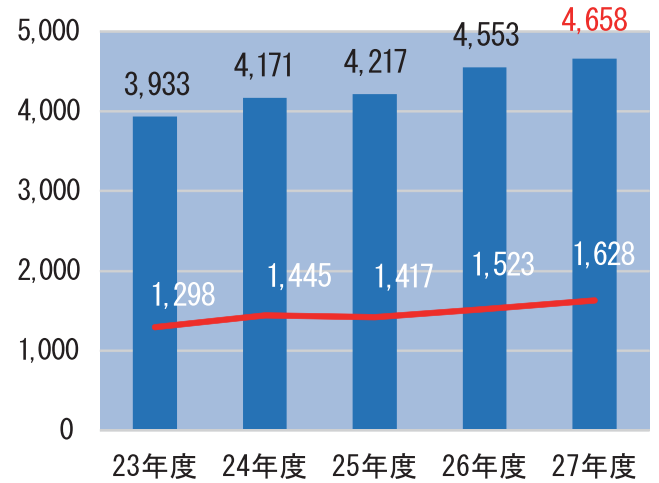
※ 赤の折れ線グラフは放射線科検査を除いた件数

紹介件数を地域別に見ると、当院が属する須磨区と、垂水区、西区の3区で86%を占めており、「地域に根ざした病院」として努力いたします。救急にも力をいれており、毎年救急受入患者数は増加しております。

4. 地域別紹介件数（平成27年度） 単位：件



5. 救急患者数の推移（過去5年間） 単位：件



※ 赤の折れ線グラフは救急車搬送件数

今後も、地域医療の充実に向けて努力して参りますので、当院との病病連携・病診連携について、よろしくお願ひ申し上げます。

基本理念・基本方針

〈基本理念〉

すべての人の立場にたった医療サービスを提供します

〈基本方針〉

1. 人権を尊重し、良質・安全な医療サービスを提供します
2. 政策医療の専門医療施設として医療水準を高め、臨床研究・教育研修・情報発信を行います
3. 地域の医療機関と緊密な連携を行います
4. 健全な病院経営につとめます
5. すべての職員は改善意識と目的意識を持ち、医療サービスの向上につとめます





外来診療担当医表

診療受付時間 8:30~11:00

(平成28年10月1日現在)

		月	火	水	木	金	備考
内科	初診(総合内科)	清水 一也	永礼 智基	三輪 陽一	宮崎 博之	清水 雅俊	患者さんからの直接予約は受け付けておりません 紹介状をお持ちでない初診患者さんは、内科初診(総合内科)での診察になります
	再診	衣笠 允雄 徳永 英里	櫻尾 和洋 谷岡 洋明	中山 文仁 清水 雅俊	高峰 佐智子 三田 正樹	徳永 英里 岡田 武哲	
	予約診(午前)		三輪 陽一	清水 一也	三輪 陽一	福地 寛子	
	予約診(午後)		高峰 佐智子				
消化器内科		清水 一也 三田 正樹	谷岡 洋明 宮崎 博之	中山 文仁 清水 一也	宮崎 博之 三田 正樹	徳永 英里 宮崎 博之	
		中山 文仁 徳永 英里	酒井 太門	第2,4週 賀米 英俊		谷岡 洋明	
	午後診	朝治 直紀					
		衣笠 允雄	櫻尾 和洋 高峰 佐智子 三輪 陽一	三輪 陽一 清水 雅俊 岡田 武哲	高峰 佐智子 衣笠 允雄 三輪 陽一 伊藤 泰子	清水 雅俊 岡田 武哲 第2,4週 櫻尾 和洋	
循環器内科							
呼吸器内科		担当医 (初診・予約のみ)	土屋 貴昭	担当医 (再診・予約のみ)	土屋 貴昭	担当医 (再診・予約のみ)	
糖尿病内科		永礼 智基	永礼 智基		永礼 智基		
感染症内科							
神経内科				上中 健			神経内科は午後診(予約制)
心療内科・精神科		休診	休診	竹内 克史	毛利 健太郎	休診	予約制(継続の方のみ)
心理判定カウンセリング					杉山 直緒子		
緩和ケア内科		山川 宣	山川 宣	山川 宣	山川 宣	山川 宣	完全予約制(通院中の方のみ)
小児科	午前診	小林 明子	小林 明子	小林 明子	担当医	小林 明子	専門外来は午後から診察(予約制)
	午後診 [予約制]	心エコー	慢性疾患 小林	乳児健診	腎臓 小林		
消化器外科	一診	辻村 敏明	岩崎 武	岩崎 武	前川 陽子	辻村 敏明	
	二診		平田 建郎	石田 潤	石田 苑子		
	三診		田上 修司				
	四診			小倉 佑太			
乳腺外科		前川 陽子 (原則予約・再診のみ)		前川 陽子	前川 陽子		月曜日は予約なしの初診患者さんは診察しておりません(6ヶ月以上受診されていない方も含む)
整形外科	一診(初診)	川北 晃平	乾 義弘	蔵川 拓外	堂垣 佳宏	鈴木 哲平	側弯症外来、骨粗しょう症外来の担当医は当日決定します 手術のため、担当医を変更することがあります 水曜日は初診と予約(脊椎側弯センター)のみの受付です 側弯症外来は午後4時からとなります(予約制)
	二診(再診)	鈴木 哲平	川北 晃平		乾 義弘	堂垣 佳宏	
	三診(再診)	蔵川 拓外	骨粗しょう症外来 (14:00~15:00)				
	脊椎側弯センター(2F)	宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	
形成外科		休診(手術日)	輪湖 雅彦	輪湖 雅彦(予約のみ)	休診	輪湖 雅彦	午前中のみ
脳神経外科		高本 剛	休診(手術日)	高本 剛(初診のみ)	高本 剛	高本 剛	水曜日は初診のみ
呼吸器外科		第2,4週 田中 雄悟	休診	休診	法華 大助	休診	午後診のみ(予約制)
皮膚科	午前診	山本 篤志 担当医	山本 篤志 (受付10時半まで)	山本 篤志 担当医	休診(手術日)	山本 篤志 担当医	アレルギー外来、漢方外来は予約制となり、患者さんからの直接予約は受け付けておりません 火曜日の初診・再診受付は10時半までです。
	午後診	アレルギー外来				漢方外来	
泌尿器科		大岡 均至 (受付10時半まで)	予約患者のみ 特殊検査処置	大岡 均至	予約患者のみ 手術日	大岡 均至 (受付10時半まで)	月曜日、金曜日の受付時間は10時半までです 火曜日、木曜日は予約患者さん以外の方の診察はできません 担当医が変更になることがあります
産科・婦人科	診察室1	武内 孝介 (予約)	担当医 (初診・再診)	杉本 誠 (初診・再診)	武内 孝介 (初診・再診)	担当医 (初診・再診)	火曜日、金曜日の受付時間は10時半までです 神戸市子宮癌検診は神戸市在住、20歳以上の方で、平成28年4月1日~平成29年3月31日の期間に偶数年齢になる方が対象です
	診察室2	吉田 愛 (初診・再診)	武田 晃子 (予約)	武田 晃子 (予約)	杉本 誠 (予約)	武田 晃子 (予約)	
	産褥健診			担当医 (15:30~16:30)	武田 晃子 (予約)		
眼科		藤岡 久美子	休診(手術日) 視野検査	藤岡 久美子 中村 礼恵	中村 礼恵	藤岡 久美子 中村 礼恵	
耳鼻いんこう科	午前診	黒田 浩之 (予約のみ)	黒田 浩之 (予約・紹介のみ) (受付10時半まで)	第2,4週 チーム回診	休診(手術日)	黒田 浩之 (予約のみ)	耳鼻咽喉科の診療については、「紹介状を持参された方」又は、「ご予約の方」のみの診察となります 火曜日、木曜日の受付時間は10時半までです 第2,4週の火曜日はチーム回診により、診察を一時中断するため、待ち時間が多くなる場合があります
	午後診	特殊検査	特殊検査			特殊検査	
放射線科	放射線治療			西川 遼		佐々木 良平	診察は完全予約制 治療の依頼は毎日受付
	IVR	小出 裕				片山 直人	
	CT・MRI診断	森田 瑞穂 本山 新	本山 新	本山 新	森田 瑞穂 本山 新	本山 新	月~金曜日 随時受付
リハビリテーション科						川北 晃平	

独立行政法人 国立病院機構

神戸医療センター 地域医療連携室

〒654-0155 神戸市須磨区西落合3-1-1

TEL : 078-795-6584 (直通) FAX : 078-795-6591

<http://www.kobemc.go.jp>

開室時間 月~金曜日 午前8時30分~午後7時00分(祝日・年末年始を除く)

- 神戸市営地下鉄名谷駅から徒歩15分
- 神戸市営バス「神戸医療センター前」すぐ
- 山陽バス「神戸医療センター下」徒歩3分